

## 令和7年度幼稚園教育課程宮城県研究協議会 アンケート結果

令和7年度幼稚園教育課程宮城県研究協議会は、令和7年7月30日カムチャツカ半島付近を震源に発生した地震に伴う津波警報発令により中止となりましたが、後日限定配信を行った話題提供及び講演動画を御視聴いただいた参加者の皆様からたくさんの御感想等をいただきました。ありがとうございました。

今回の「学ぶ土台づくり」便りでは、皆様からいただいた御感想等の一部を抜粋して御紹介します。

### 【話題提供①：幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進／気仙沼市立大谷幼稚園】

- ・幼児教育施設と小学校との間で相互理解を深める取り組みの重要性を改めて実感した。
- ・互いに保育や授業の様子を見合うことで、それぞれの発達の段階を正しく理解することができたり、目指す姿やつながりを意識したりできると思った。
- ・交流で終わらせるだけでなく、ドキュメンテーションやお便りでの発信等、幼稚園で育っている姿と就学後に活かされる姿を共有し、今後の保育につなげようとする取組がすばらしい。

### 【話題提供②：架け橋期のカリキュラムの開発・実施／気仙沼カトリック幼稚園】

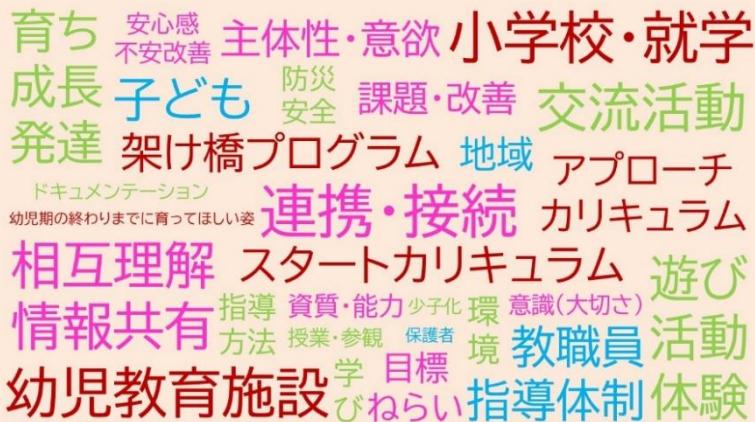
- ・幼児がいかに小学校生活をイメージし、これから過ごす場に安心感や期待感をもてるかも交流の重要な点だと改めて感じた。
- ・架け橋期のカリキュラム作りでは、入学前の姿、入学後の姿を共有し、幼少の教員が連携することで、より細かなところまで踏み込んだ計画・実践ができることが分かった。
- ・「期待する子供像」や「育みたい資質・能力」を明らかにするために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を参考にすることが有効だと感じた。

### 【講演：幼児教育において育みたい資質・能力と小学校教育への円滑な接続／文部科学省初等中等教育局幼児教育課】

幼児教育調査官 平手 咲子 氏】

- ・単に「小学校の学習に備える」ことが幼児教育の目的ではなく、幼児期の特性を踏まえた豊かな遊びや生活の中で、子供が主体的に学びに向かう力を育てることが、結果として小学校教育の基盤になるという点が特に印象に残った。
- ・幼保小の架け橋プログラムは「ゼロからのスタートではない」という点がまさにその通りであると感じた。
- ・職員間で小学校のつながりについて理解を深め、地域の実態に合わせた交流計画を作成していくことの大切さを感じた。

< いただいた感想を図に表しました >



図の見方

話題提供及び講演動画の感想から共通して多く寄せられた言葉を文字の大きさで表しています。

頻出ワード  
トップ3



連携・接続



小学校・就学



幼児教育施設

### 幼児教育アドバイザー派遣事業

宮城県教育委員会では、幼稚園・保育所・認定こども園等を訪問し、園内研修等のサポートを行う幼児教育アドバイザー派遣事業を実施しています。

また、小学校や市町村教育委員会等が実施する保幼小合同研修会等への派遣も行っています。

交通費や謝礼は不要です。派遣のための経費は一切かかりません。

幼児教育アドバイザーを活用して、園・所、さらには地域全体で、幼児教育の質の向上や幼児教育と小学校の円滑な接続を目指していきませんか？

まずは、お気軽にお問合せください！

